

神奈川県社保協ニュース

神奈川県社会保障推進協議会【NO. 25-12】 2026年6月1日発行
横浜市中区桜木町3-9 平和と労働会館6F TEL045-201-3900・FAX045-212-5745

「薬代の保険はずし」を含む「改定健康保険法」が成立！！

5月29日、参議院本会議で、「OTC類似薬」1100品目の患者負担増となる改定健康保険法が可決、成立しました。採決では、自民党、日本維新の会、国民民主党、参政党、日本保守党、チームみらいなどが賛成、立憲民主党、公明党、日本共産党、れいわ新選組、沖縄の風、社民党などが反対しました。

改定健康保険法は、薬剤費など療養の一部を保険外として患者に別途負担を押しつける仕組みである「一部保険外療養」を創設。医師が必要と判断して処方した医薬品を保険給付外とするもので、「必要かつ適切な医療は基本的に保険診療により確保する」という国民皆保険制度の理念から逸脱します。2027年3月からOTC類似薬のうち77成分1100品目の薬剤費の25%を保険からはずします（消費税もかかる！）。現役世代の保険料負担軽減のためといいますが、見直しによる保険料軽減効果は月33円にすぎません。一方、窓口負担3割の場合、薬剤費の自己負担は5割に増えます。今後、対象品目の拡大、保険はずしの割合の拡大、薬以外の医療行為への保険はずしの拡大などが狙われています。さらなる改悪を許さない運動をすすめましょう。

5.14 「薬代の保険はずし反対」宣伝行動！！署名20筆集約

5月14日、伊勢佐木町有隣堂前で、7団体15人（そのうち医師3）参加で、OTC類似薬の保険はずし追加負担に反対する宣伝行動を実施しました。チラシ・ティッシュ300配布、署名20筆集約。この日の前日、OTC類似薬の保険はずしの健保法改定法案が参議院で審議入りしました。しかし、薬代の保険はずし負担増は、ほとんど知られていません。通行する人はまばらでしたが、そのことを話すと署名してくれました。



5.26 介護署名提出行動、全国から「39万3千筆」提出！！

中央社保協、全日本民医連、全労連は5月26日、「介護保険制度の抜本改善、大幅な処遇改善を求める国会請願署名」の第3次提出集会を衆議院第2議員会館第1会議室で開催。全国から会場93名、WEBで51カ所、あわせて144名以上が参加し、熱気あふれる集会となりました。神奈川から、県社保協と民医連から参加しました。提出した署名の累計は39万3055筆、そのうち神奈川からは14,800筆です。



中央社保協介護対策委員の日下部さんが主催者を代表し挨拶。白川容子参議院議員（日本共産党）芳賀道也参議院議員（国民民主党）が激励あいさつに駆け付け、署名を受け取りました。介護署名の紹介議員は衆参あわせて33名となりました。現場からの報告では、和歌山県医労連の谷口書記長が介護労働者の賃金が高産業平均で月額83万円の格差があり、介護人材確保に介護報酬の大幅引き上げが不可欠と訴えました。大東社保協の天野氏は、大東市が軽度者の総合事業移行を強力に進め介護保険が使えない事態が広がる問題、高い介護保険料の引き下げのたたかいを報告しました。全日本民医連の林氏が「介護保険制度の見直しをめぐる情勢」について報告。介護保険法の一部改正をめぐる問題点に触れ、利用料2割化や来年の介護報酬改定を含めて、たたかいを広げようと訴えました。<中央社保協ニュースより転載>

市民運動が横浜市制のあり方につながっている!!

横浜市社保協総会

横浜市社保協は5月9日、横浜市従会館で第28回定期総会を開き、20名が参加しました。

<学習講演～横浜市政と働きかたの現状～横浜市従委員長・田中美穂さん>

総会前半は、横浜市従労組委員長の田中美穂さんから上記テーマの講演が行われました。田中さんは保健師として働いていますが、小児医療費18歳までの無料化のほか山中市長になり、敬老パスや地域交通の拡充、補聴器助成など、市民や高齢者をサポートする政策が生活環境を改善していることを実感していると話しました。認知症とされていた高齢者が、実は聞こえが悪く認知症と誤解されていたケースなどを紹介し、補聴器助成のモデル事業が始まったことを評価しました。また、職員の働き方では、欠員が解消されないなかでもアンケート調査結果で、全体に奉仕する仕事にやりがいを感じているという回答が多く寄せられたことに励まされたと言います。労働組合の活動と市団連など市民運動が市政のあり方につながっていると感じるとし、それぞれの運動と組織の発展が大事と話されました。



<総会～2026年度予算で市民要求が大きく前進！>

総会では、横浜市の2026年度予算で18歳までの小児医療費完全無料化の実現や、敬老パスと地域交通の整備、補聴器助成、75歳以上のがん検診無料化など、私たちの市民運動が実った前進と評価。横浜市に向けた要求実現の取り組みの強化、国の公費投入による社会保障の充実を目指す取り組み方針などが提案され、決定しました。

<討論～地域社保協の運動の強化と拡大を！>

討論では、各分野の要求運動のいっそうの前進と、地域社保協の運動の強化と拡大の必要性などが出されました。<横浜市社保協・佐藤長世事務局長より>

ナフサ供給困難の影響に社保協も取り組む！！

藤沢市社保協総会

5月23日、藤沢診療所の会議室で、藤沢市社保協第28回総会を14名の参加で開催しました。

総会は、「2025年度経過と総括」および「2025年度決算報告」「監査報告」をそれぞれ担当より報告され、その後、「私たちを取り巻く情勢」、「2026年度方針案」、「2026年度会計予算案」、「2026年度役員提案」を一括して行い、その後、質疑討論を行いました。

質疑応答では、①中東情勢の悪化によるナフサの供給困難のため、建設業、医療業界に多大なる影響が出ており、社保協としても取り組む必要があること。②医療の6月からの改定にある予約キャンセル料のこと、③社保協ニュースの発行について、④幹事会のwebとのハイブリット開催についてなどが出されました。

役員体制の変更があり、長きにわたり社保協の活動にご尽力いただいた役員の方からご挨拶をいただき、総会は閉会しました。<藤沢市社保協 安藤一美事務局長より>

記者会見

中東情勢やナフサショックの営業や仕事への影響実態報告

5月28日、県庁記者クラブで、神奈川労連や建設労連、神商連、民医連、機関紙印刷などにより、中東情勢やナフサショックの営業や仕事への影響についての実態を報告する記者会見を実施しました。記者会見には、朝日、読売、毎日、神奈川、東京、産経、赤旗、新かながわなどの記者が参加し、翌日各紙が報道しました。



記者会見では、「6月に入ると死活問題だ」、「廃業や自治に追い込まれることもあり得る」、危機的状況を「目詰まり」のひとことで片付けようとしているとして政府の姿勢を批判しました。

「国は目詰まり状態からの認識から脱しておらず、支援は極めて不十分。直ちに実態を把握し対策を急いでほしい」と戦争の一刻も早い中止と、直接支援を強く訴えました。

5.17 消費税ネット「荻原博子さん学習会」 150人参加！！

5月17日、消費税ネット（消費税を含む税のあり方を考えるネットワーク）は、経済ジャーナリストの荻原博子さんをお呼びし、「高市政権でくらしはどうなる？」をテーマにした市民公開学習会を開催。会場いっぱいの150人が参加し、荻原さんの熱のこもった講演に聴き入りました。

荻原さんは「2月に突然総選挙に打って出た高市政権は、野党が消費税減税の公約に対して、消費税0パーセントを言いだし、多くの票をかすめとった」「国民会議なるものをつくり、消費税減税の論議している。国会で減税の議論を公に進めればいいのにそうになっていない」「給付つき税額控除の話ばかりが先行し、消費税減税はやりたくないのでは」「消費税減税を求めて自民党に投票した人を裏切る行為だ」「高市さんは詐欺師だ」。

「円安が進行して、物価が上がっているが、恐ろしいのはホルムズ海峡封鎖の影響がこれから出てくることだ」「水道・電気・ガスなどが上がる。ナフサを原料にしたプラスチック製品が不足している」「建築関係の資材不足、医療や介護用品の不足などもうすでに深刻な事態が進んでいる」「大金持ちと貧乏人で格差が広がっている」「景気がいいのはピラミッドの上の方だけ、下はドシャ降り状態だ」。「高市政権がすぐにやるべきは、ドシャ降りを止めることだ」「物価高対策をまず優先すべき」と強調しました。「8月から高額療養費制度の上限額引き上げが始まる」「これから大きな不安は、介護と医療」「高市政権は、その不安を取り除く政治をするべきだ」。そして、くらしに役立つアドバイスをいくつか披露し、講演を終わりました。

講演に先立ち、消費税ネット代表世話人の益子良一さん（税理士）が主催者あいさつし、丸山健二さん（建設労連）の司会で進行しました。講演後、同代表世話人の田所生利さん（保険医協会）が閉会あいさつしました。

「市民にやさしい語り口で、政治・経済を切っていることが心の中にはいつてきます」「荻原先生のお話しは、おもしろかったです」「もっと時間がほしかったです」「難しい内容になるかと思いましたが、身近な生活にかかわるリアルなお話しで、楽しく聞かせていただきました」などの感想が寄せられました。



5.30 「神奈川生存権裁判・勝訴祝勝会」を開催!!

5月30日、高裁勝訴・「上告せず」で勝利した神奈川生存権裁判の勝訴祝勝会が横浜市内で開催されました。

たたかい続けてきた原告代表13名、弁護団はじめ支援者ら77名参加して、和やかに終えることができました。閉会あいさつした支援する会・関美恵子前事務局長から「私たちみんなの人生にとっての誇りになった」という言葉で会場は感動に包まれました。

今後は審査請求運動に舵を切って、物価高に喘ぐ生活困窮者に寄り添って闘い続けていく意思統一の場にできました。<神奈川県生健会：峯松益幹事務局長より>



神奈川県「高齢難聴者補聴器装用推進事業」開始

この間、神奈川県に「加齢性難聴による補聴器助成の補助事業の開始」を要求してきました。年金者組合は、神奈川県への要請と、神奈川県議会への請願の取り組みを継続して行ってきました。3月に神奈川県から、「補助制度を創設する方向で予算措置を講じた」と画期的な回答があり、3月議会で「高齢難聴者補聴器装用推進事業」を決めました。当初の補助額は少ないものの、県の開始は、東京・山梨に次いで、全国の都道府県で3番目となります。

TOPICS

- ◆ 5.1 神奈川県のメーデーは、雨の中、県内9カ所1700人参加。
- ◆ 5.3 県民のつどい（憲法集会）570人参加。同日開催の中央の憲法集会には5万人以上が参加。
- ◆ 神奈川県内の平和行進は、5月7日から19日の13日間、県内の全市町村・区地域で行進し、多くの人参加。
- ◆ 5月13日、神奈川国会行動を実施し、11団体63人が参加して地元議員などに要請しました。

あなたのすぐそばにいる 「ガイコクジン」

くれまつ さいち

<講師> 榎松 佐一 さん

(外国人実習生SNS相談室)



時 6月13日(土)

★13:00~14:30 学習講演

★14:45~16:30 県社保協総会

所 建設プラザ4F会議室

★横浜市神奈川区神奈川 2-19-3 ☎045-453-9701

●JR京浜東北線・「東神奈川駅」下車徒歩5分 ●京急・「東神奈川駅」下車徒歩5分

★ZOOM 視聴こちらから

<https://x.gd/lahiq>



《6月の主な行動・会議日程》

- 6月2日(火) 県民要求連絡会と神奈川県情報公開広聴課との話し合い 10:00 県庁会議室
国民大運動実行委員会：情勢セミナー 14:00 神商連 4F ホール+ (ZOOM)
- 6月3日(水) 県民要求連絡会事務局会議 10:00 県職労連会議室+ (ZOOM)
中央社保協運営委員会・介護障碍部会 10:30 医療労働会館+ (ZOOM)
- 6月5日(金) 県社保協第12回幹事会 14:00 保険医協会会議室+ (ZOOM)
高齢期のつどい打合せ 10:00 川崎医療生協藤崎クリニック会議室
- 6月7日(日) 神奈川県建設労連大会 ワークピア横浜
- 6月10日(水) 神奈川年金学校(介護保険料) 15:00 神商連会議室
- 6月13日(土) 神奈川県社保協 2026 年度総会 13:00 神商連 4F 会議室+ (ZOOM)
- 6月14日(日) 神商連第69回総会 10:00 神商連会館 4F 会議室
- 6月15日(月) 中央社保協・関東甲ブロック会議 13:30 医労連会館会議室
- 6月16日(火) 平塚地域社保協幹事会 10:00 医療生協かながわ平塚診療所会議室
- 6月17日(水) 神奈川国会行動 10:00 衆議院第二議員会館多目的会議室
医療問題研究会 18:30 平和と労働会館 7F 会議室
- 6月18日(木) 全県一斉宣伝行動西湘地域キャラバン① 8:50 建設労連駐車場
高齢期運動連絡会事務局会議 15:00 年金者組合会議室
- 6月19日(金) 県民要求連絡会総会 10:00 神商連会館 4F 会議室+ (ZOOM)
- 6月20日(土) ユナイト宣伝行動 15:30 桜木町駅前広場
- 6月21日(日) 保険医協会定時総会・懇親会 18:00 横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ
- 6月22日(月) 全県一斉宣伝行動西湘地域キャラバン② 8:50 建設労連駐車場
- 6月24日(水) 国民大運動実行委員会世話人団体会議 9:00 平労会館 4F 会議室+ (ZOOM)
消費税廃止各界連宣伝行動 14:00 伊勢佐木町有隣堂前
- 6月29日(月) 年金者組合戸塚支部保険はずし学習会 13:00
消費税ネット世話人&事務局会議 18:30 神商連 2F 会議室+ (ZOOM)
- 6月30日(月) 神奈川生存権裁判を支援する会幹事会 10:00 平労会館 7F 会議室